

平成30年度 経営改善計画ヒアリング 計画・取組状況とヒアリング時の特記事項 <就職活動の支援>

今後の計画（3年間）	30年度の具体的取り組み・タイムスケジュール	ヒアリング時の特記
<p><学生課キャリアセンター> 委員会活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 就職専門委員会活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職専門委員会実施 2) 2019～2021年度 12月企業研究セミナー 3) 2019～2021年度 2月企業研究セミナー <p>学生支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 学生支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 企業研究・仕事研究セミナー（2回実施 無料バス運行） 2) 福岡合同企業説明会への支援 3年生対象 4回バス運行 3) 公務員・教員志望者ガイダンス集中講座 4) 就活メークアップセミナー 3年生女子学生対象 5) 4年生対象入社前準備セミナー 6) 九州地場優良求人説明会 2回実施 7) 内定獲得のための就活応援講座 2回実施 8) 低学年向けキャリアガイダンス <p>（平成31年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1、2年生の低学年からキャリアガイダンスの導入（～32年度） 前年度計画を発展的に改革踏襲 ◆県内企業を積極的に訪問による、インターシッの受け入れや求人募集の情報収集（～33年度） 前年度計画を発展的に改革踏襲 ◆ワンデイ・インターンシップ（日帰り企業見学会）を含む、多様なインターンシップ制度の検討 <p>（平成32年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆キャリア教育の必須科目への組み込み（～32年度） ◆多様なインターンシップの受け入れ先の開拓（～33年度） <p>（平成33年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆キャリア教育の必須科目への積極的組み込み（～33年度） ◆キャリア教育、多様なインターンシップ導入の効果検証と改善（～33年度） <p>【キャリア支援】 （平成29年度の自己評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆29年度の取組は概ね達成 <p>（平成29年度の改善策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県内企業の開拓を行い県内就職率の向上を高めるとともに、地元の大学として「企業人講座」などの企業研究講座を開催し、企業との関連を構築し学生との適切なマッチングを図る。 ◆今後はさらに、低学年からキャリアガイダンスの充実を行い、企業(社会)から求められる人材を有する学生の指導に力をいれていく。 ◆正課の「インターンシップ」に加えて企業訪問型の「ワンデイ・インターンシップ（日帰り企業見学会）」の実施で業界および仕事研究を充実させて、就職後の離職対策にも充てていく。 	<p><学生課キャリアセンター></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 就職専門委員会活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職専門委員会実施 2) 2018年度 12月企業研究セミナー 3) 2018年度 2月企業研究セミナー <p>2. 学生支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 企業研究・しごと研究セミナー（2回実施 無料バス運行） 2) 福岡合同企業説明会への支援 3年生対象 4回バス運行 3) 公務員・教員志望者ガイダンス集中講座 2018/8/9（教員志望）、2018/9/14（公務員志望） 4) 就活メークアップセミナー 3年生女子学生対象 5) 4年生対象入社前準備セミナー 6) 九州地場優良求人説明会 2回実施 7) 内定獲得のための就活応援講座 2回実施 8) 低学年向けキャリアガイダンス <p>（平成30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1、2年生の低学年からキャリアガイダンスの導入（～32年度） 実績及び計画 ・工学部 キャリアガイダンス講座実施（前期・後期各1回） ・総合情報学部 キャリガイダンス講座実績（前後期で3～4回） ◆県内企業を積極的に訪問による、インターシッの受け入れや求人募集の情報収集（～32年度） 実績及び計画 ・インターンシップ協議会のほか、大学独自の企業リスト作成で学生希望に対応。（県内企業約80社） ・インターンシップでの実施内容計画を企業に作成依頼し充実を図る。 ◆ワンデイ・インターンシップ（日帰り企業見学会）を含む、多様なインターンシップ制度の検討 ◆キャリア教育の必須科目への組み込み（～32年度） 実績及び計画 ・工学部 キャリアガイダンス講座実施（工学フォーラム他）（前期・後期各1回） ・総合情報学部 キャリガイダンス講座実施（総合情報ゼミ）（前後期で3～4回） 	<p><学生課キャリアセンター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員、公務員は近年減っている ダブルスクール 3～4名 ・インターンシップ 30～40名

コース等の取組		
<p><船舶></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆船舶では学年担当制を採用して木目細かい指導を行っており、4年では学年担当が卒業担当教員と協力して、内定率100%を達成しているが、今後も維持する。 ◆教員が学生の特性等を書いたA4:1枚の推薦書、または、調査書を付ける。 ◆船舶独自で、就職試験の模擬試験を実施する。 	<p><船舶></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業の理解を深めるために、インターンシップや実習に行くことを強く勧める。 ◆独自の企業説明会を実施する。 	<p><船舶></p>
<p><建築></p> <p>(平成30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆きめ細かな就職活動の支援 <p>(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆きめ細やかな就職活動の支援 <p>(平成32年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆きめ細かな就職活動の支援 	<p><建築></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆4年生に対する就職活動の支援(4月～) <ul style="list-style-type: none"> ・就職委員が4年生全員にヒアリングを実施し、マッチングする企業の訪問時には学生を同席 ・就職委員と研究室の教員が情報を共有化して連携して支援 ・7/20時点で4年生18名のうち、公務員志望等の未定者4名を除いて内定済 ◆3年生に対する就職活動の支援(後期) <ul style="list-style-type: none"> ・研究室の教員がゼミ生の就職活動をきめ細かく支援 ◆女子学生の就職先の開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・設計・営業関係、公務員等の他に、施工管理(インターンシップ情報含む)も女子学生に紹介 	<p><建築></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職好調 ・建築力の引上げ。3～4年生、専門性増強 ・1～2年生「学力」どう育てるか課題 ・必修の科目に出てこない ・留年してもしょうがない「学士力」をつける
<p><電気></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆電気電子工学コース、過去からずっとほぼ100%の就職率を維持しており、就職先の質も高い(派遣業はほぼ無い)。これを引き続き維持する。これは本コースの伝統をよく知り、理解してくれている企業が多く、OBも多数活躍しているためである。 	<p><電気></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆インターンシップへの積極的な参加の呼びかけ・卒業生の講話・企業見学会・履歴書の徹底指導を引き続き行っていく。 	<p><電気></p>
<p><医療></p>	<p><医療></p>	<p><医療></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院と企業の初任給や昇給差が開いていく ・東京でも就職が減っている ・意図しない病院への就職あり